

特別支援学級（知的障がい学級） 生活単元学習指導案

日 時 平成21年11月12日（木）4校時
学 級 ○○学級（場所：家庭科室）
児 童 2年男子1名 3年男子1名
6年女子1名 計3名
指導者

目指していること

- ・いろいろな体験をして、生活経験を豊かにすること。
- ・人とふれあい、コミュニケーションの力を高めること。

1 単元名 スイートポテトでおもてなしをしよう

2 単元について

(1) 児童観

本学級に在籍している児童は、3名である。2年生は入学時から、3年生と6年生は、今年4月からの在籍である。杉の子学級では主に、国語と算数を学習し、他の教科は交流学級で学習している。3人が揃う時間が週に4回あるので、1時間を日常生活の時間、3時間を生活単元学習の時間と位置づけて活動している。学年や発達段階や性格が三人三様なのでトラブルもよくあるが、学級での生活に少しずつ慣れてきて、それぞれが杉の子学級に所属感をもちながら生活している。学習面では課題はそれぞれあるが、生活面でも様々な経験が不足していたり、場や状況に応じた態度がとれなかったり、周りの人とうまく接することができなかつたりするなどの課題があるので、学校生活全般や生活単元学習の時間の活動で、生活経験を豊かにすること、コミュニケーションの力を高めることをねらいにしながら活動してきている。また、生活単元学習を通じて各教科などの学習内容についても触れていく。生活単元学習の時間では、畑で作物を育て、収穫し、調理をして食べる活動に取り組むなかで、力を合わせて一緒に活動することの楽しさやよさを感じながら、自らの力で活動し、生活を楽しむ経験を増やして行ってほしいと願っている。

(2) 題材観

生活単元の学習では、将来の自立を目指し、児童に様々な活動を体験させることをねらいとしている。本単元では、自分たちが苗を植え、育ててきたさつまいもを使ってスイートポテトを作り、それをお客様に出して食べていただく活動を行う。スイートポテトを作るには、芋を洗う、芋の皮をむく、はかりを使って重さを量る、切る、ゆでる、つぶす、砂糖やバターの重さを量る、牛乳を計量カップを使って量る、混ぜる、生地を丸める、卵をぬる、焼く、盛りつけるなど、たくさんの道具を用いながら自分の手を使って様々な作業を行わなければならない。難しい作業のところは、上の学年の児童が行ったり、教師に手伝ってもらったりしながらでも、個々がスイートポテト作りに関わり、3人で協力して作りあげることで自分のできることを増やし、それぞれの生活経験を豊かにすることにつながっていくと考える。また、自分たちが作ったスイートポテトをお客様に出しておもてなしをする体験をとおして、児童は、人と交流を行い、人とふれあう楽しさや人に喜んでいただくうれしさを味わうことができると考える。これらの体験をすることが、児童が成就感をもち、自信をもって生活していくことにつながると考える。

(3) 指導観

調理の経験は、1学期に家の人と一緒に豆腐白玉団子作りや畑で収穫したズッキーニを使ったズッキーニ炒め作りを行っている。また2学期になってからは、やはり畑で収穫したじゃがいもを使ってじゃがいも団子を作り、校内の先生方に食べていただ

くことを経験してきている。おもてなしについては、じゃがいも団子を食べさせていただいたときに、自分たちが作ったじゃがいも団子やお茶を先生方一人一人に言葉をかけながら配り、先生方からも感想やお礼の言葉をもらい、自分たちの活動に成就感をもつことができた。ねらいに近づけるために指導にあたっては、次のことに留意して指導を進めていきたい。

- 活動の内容を文字や写真で表し内容が具体的に理解できているかを確認、理解できていないときには説明し、安心して活動できるようにする。
- じゃがいも団子作りのことを写真などで想起させ、同じように取り組みばよいことを知らせ、活動への見通しをもたせる。
- おもてなしの活動の前に実際にスイートポテト作りを体験させ、作業の仕方を分からせ、活動の見通しをもたせる。
- 言葉のかけ方のカードを使いながらおもてなしの練習をさせ、活動の見通しをもち、安心してお客様と接することができるよう配慮する。
- 単元全体の学習をとおして、できたことをそのつど認めたり、最後まで意欲が続くよう支援したり励ましたりしていきたい。

3 単元のねらい

- 店に行ってスイートポテト作りの材料を買う。
- 調理の手順に従ってスイートポテトを作る。
- おもてなしの方法を理解し、実際にお客様をもてなす。
- 協力し合い、最後まで根気よく取り組む。

4 単元活動計画 (11時間)

- (1) スイートポテトの作り方を学習し、買い物に行く計画をたてる。・・・1時間
- (2) 店に出かけ、スイートポテトの材料を買う。・・・1時間
- (3) スイートポテトの作り方の流れを学ぶ。・・・2時間
- (4) おもてなしの仕方を学習する。・・・1時間
- (5) スイートポテトを作ることに慣れる。・・・2時間
- (6) おもてなしの練習をする。・・・1時間
- (7) スイートポテトを作り、おもてなしをする。・・・2時間 (本時2/2)
- (8) おもてなしをしての感想を書く。・・・1時間

5 児童の実態と指導目標とその手だて

児童	実態	個別の目標	手だて
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・とても幼い。 ・手指を使った細かい作業が苦手である。 ・挨拶を元気にする。身近でない人と積極的に関わろうとはしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・店の人に「こんにちは。」と挨拶をして上級生と一緒に買い物をする。 ・大きさに気をつけて生地を丸めてスイートポテトを作る。 ・お客様に声をかけてスイートポテトを差し上げる。 ・指示された仕事を最後までがんばる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の練習をさせ、一緒に行動してやってみせる。 ・見本を作り真似をさせる。 ・言葉のかけ方のカードを参考に練習をさせる。 ・声をかけて、活動を見守りながら、一緒に活動し励ます。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の活動には、意欲的である。 ・短気なところがあり、集中力が続かないことがある。 ・恥ずかしがり屋だが、人 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイートポテト作りの材料をかごに入れ、レジに持って行く。 ・食器を丁寧に扱いながら準備や後片付けの仕事をし、スイートポ 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品と一緒に確かめる。 ・仕事の仕方や食器の扱い方を教え、支援と励ましを送る。

	と交流するのは好きである。	<p>テトを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様に声をかけてスイートポテトを差し上げる。 ・下学年の児童と一緒に最後まで仕事に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のかけ方のカードを参考に練習をさせる。 ・活動を見守り、励ます。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・調理や手芸などは、好きである。 ・見通しをもって活動できないことがある。 ・人と交流するのは苦手。交流学級では孤立しており、殆ど話さない。 ・自分が嫌なことは、しようとしなないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイートポテト作りの材料の金額に合わせて代金を支払う。 ・仕事の手順のカードを参考にして、自分の仕事を確かめながらスイートポテトを作る。 ・お客様に声をかけてスイートポテトやお茶を差し上げる。 ・自分の仕事に責任をもって取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と思われる金種を使いお金の出し方を練習させる。 ・作業を確認しながら活動するよう見守り、困ったときには支援する。 ・言葉のかけ方のカードを参考に練習をさせる。 ・活動を見守り、励ます。

6 本時の学習（10 / 11）

（1）学習のねらい

- ・スイートポテトを作る。
- ・作ったスイートポテトでお客様をもてなす。
- ・3人で協力し合い、最後まで根気強く取り組む。

（2）個人の目標

児童	本時の目標
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けて、大きさに気をつけて生地を丸めたり後片付けをしたりし、友達と一緒にスイートポテト作りをする。 ・支援を受けながら、恥ずかしがらずに「どうぞ。」と言葉をかけてお客様にスイートポテトを出す。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・生地を丸めたり丁寧に食器を扱いながら後片付けをしたりし、友達と協力してスイートポテトを作る。 ・お客様をしっかりと見て「どうぞ。」と言葉をかけてスイートポテトを出す。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の手順を自分で確かめながら仕事をして、友達と協力してスイートポテトを作る。 ・声をかけてお客様にスイートポテトやお茶を出してもてなし、感想をもらうことができる。

（3）本時の展開

学習活動（時間）	指導・支援と留意点	準備物等
1 あいさつ（2分）	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 	
2 学習のめあてをつかむ。（3分）	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなでめあてを大きな声で読み、めあてについて確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>スイートポテトでおもてなしをしよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの作業を振り返るとともに、本時の作業の手順を確認させ、見通しをもって活動できるように配慮する。 ・一人一人の目標を発表して確認させ、意欲をもって取り組めるよう配慮する。 	作業手順を表した言葉や写真

	<p>2年生：先生の話をよく聞いて仕事をする。</p> <p>3年生：ていねいに仕事をする。</p> <p>6年生：進んで仕事をする</p>	個人目標
<p>3 スイートポテト作り (23分)</p>	<p>①スイートポテトの生地を丸め、形を整えてホイルカップに入れる。(2・3年生)</p> <p>②卵液を作り、表面にぬる。(6年生)</p> <p>③オーブンで、10分焼く。</p> <p>④後片付けをする。(2・3年生)</p> <p>⑤お茶を出す準備をする。(6年生)</p> <p>⑥焼けたスイートポテトを取り分ける。</p>	<p>スイートポテトの生地(前時にゆでてつぶして、味をつけておいたもの)</p> <p>卵</p> <p>ボール</p> <p>ホイルカップ</p> <p>オーブン</p> <p>タイマー</p> <p>茶碗、皿</p>
<p>4 おもてなしをする。 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分量が同じになるようにスイートポテトの生地を教師が計量スプーンですくい、一人一人に渡して丸めさせる。 5個ずつ並べ、数が分かりやすいようにする。 安全面を考慮して、熱いオーブンの取り扱い、教師がする。 6年児童には、先に立って活動できるように声をかけ励ます。 様子を見ながら、教師も一緒に作業する。 代表のお客様を読み上げ、席についていただく。(6年生) 作ったスイートポテトやお茶をテーブルにセッティングし、おもてなしの環境を整える。(6年生) 参観している先生方にスイートポテトを配る。(2・3年生) 接し方など、様子を見て、必要に応じて支援する。 	<p>言葉のかけ方のカード</p> <p>器の場所を記したシート</p>
<p>5 まとめ(7分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 試食していただいた先生方から感想をいただく。 本時の授業を振り返り、感想を発表し、それぞれのがんばりを認め合い、成就感をもたせる。 	

(4) 本時の評価

- ・スイートポテトを作ることができたか。
- ・作ったスイートポテトでお客様をもてなすことができたか。
- ・3人で協力し合い、最後まで根気強く取り組めたか。